

第7回千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会 議事要旨

1. 開催日時：平成29年9月15日（金） 14：00～16：00
2. 場 所：千曲市河川事務所2階 大会議室
3. 出席者：平林座長、傳田委員、島野委員、笠原委員、蓬田委員（川住代理）、
中山委員（新井代理）、島田委員（荻原代理）、小根澤委員（小林代理）、宮嶋委員
（竹中代理）、翠川委員、吉池委員、富岡委員、依田委員、堤委員（堀内代理）
※欠席：北野委員、豊田委員、福島委員

4. 議事概要（凡例：「◇」事務局からの連絡、「＊」質疑、「→」回答、「☆」意見

1) 資料1 これまでの検討結果の概要及び施工箇所を経年変化

- ＊H27 施工箇所における洪水後の河床上昇について、確認できるのはNo19の横断図のみか？
→洪水前の横断測量はNo19のみであり、他地点の河床上昇は確認できていない。

2) 資料2 第6回検討会における指摘と対応事項

- ＊H28 施工箇所の水辺の楽校ワンドについて、H28 施工時のダンプトラック運搬などにより、
ワンド部への導水が一度止まっている。その後、現在では、施工前の導水状況に戻っている
が、本川からの導水はないということか？
→今春まで導水が止まっていたが、現在は導水を確認している。今後の様子を確認し、引き続
き水温状況を調査した結果を次回報告する。

3) 資料3 モニタリング調査について

- ＊H29 掘削箇所にて確認されている長野県版レッドリストにあるサイカチの保全方法はどうす
るか？
→確認された箇所は、掘削範囲のすりつけ区間になるので、掘削範囲に含めない形で保護する。
→掘削範囲の境界に位置するので掘削範囲に含めないように配慮すればよい。
☆掘削箇所では、最初に一年草のシロバナシナガワハギやオオイヌタデなどの群落が生育して
おり、寿命の短いものから長いものに移っていく植生遷移の点から順番通りである。また、
洪水により外来種である一年草が消失しているのは、掘削高がうまく機能している印象を持
つ。カワラヨモギは多年草であるため、もう少し時間を見ながら引き続き写真撮影により確
認すると良い。

- ☆H27 施工箇所ワンド・たまり箇所の湧水調査では、水温データの他に pH や電気伝導度も測
定しているので、そのデータも調査結果に示した方が良い。

☆H29 施工箇所付着藻類調査において、上流部地点の活性度データが他地点と比べ極端に異なっている。対照地点としてのコントロールポイントになるので、対応を考えた方が良い。
→流部地点の対応については、ご意見を聞きながら検討していきたい。また、今後、同じような問題が生じる可能性があるので、近傍で複数地点調査するなどデータのとり方を検討したい。

＊H29 施工箇所付着藻類調査の強熱減量の結果から殆どの調査地点において有機物が少ない状況が確認できる。規定に則った調査を実施しているのか？
→調査手法は規定どおり実施している。

☆強熱減量が全体的に少ない状況については、土砂がたまり易い箇所での特徴なのか、千曲川中流域全体での傾向なのかが次の課題であるが、貴重なデータである。

4) 資料 4

＊ADCP による計測は全域で実施しているのか？
→調査対象全域で実施している。

☆深掘れ箇所への埋戻し施工は、全国でも貴重な知見となるので、今後水域の河床がどのように変化するか ADCP 計測によりしっかりと確認していくのが良い。
→調査計測を行うタイミングなどについて、今後相談させて頂きながら、把握していきたい。

＊古舟橋上流左岸の崖地にカワセミが毎年営巣しているが、施工後も崖地は残るか？
→現状では、水の流れが直角に河川管理施設である護岸へ流れているため、護岸への影響を考えると、掘削や埋戻し施工を行うことにより、無くなる可能性が高い。
→カワセミや他の生物への影響も含め事前調査をしっかりと実施し、埋戻し施工の形状等についての検討も含め、ご相談をさせて頂きながら進めていきたい。
☆指標種ではないが、カワセミが千曲川上流部では少なくなっている印象を受けたので、確認した。

＊H27 施工箇所ではチドリが確認できなくなったので、比較的短期に効果が無くなった感じがある。今後再度掘削する予定はあるか？
→今後、洪水で砂礫が回復される事も考えられるため、引き続き状況を確認しながら対応していく。

☆H29 施工箇所の下流側の調査地点は、洪水で流路が変わった場合においても上田大橋付近右岸から流入してくる下水処理水の影響を受けない箇所に調査地点を設定する必要がある。

☆埋戻し施工について、掘削土を埋戻すことにより、外来種の種が流下していくことは仕方が無いことではあるが、そのような事象を理解しておくこと。また、瀬と淵は魚類にとって別々の機能を有していることから、事前の調査により確認しておくように。

→埋戻し箇所の魚類等の調査については、ご相談させて頂きながら調査していきたい。

7)資料5 今後の予定について

特に無し